

とんな子みっけ!

母の日の翌日。ピンクの巻物を嬉しそうに持って登園する年長組。巻物を広げると、自分がしたお手伝いの写真を誇らしげに見せてくれます。その様子にちょっぴり対抗して、年中組も、「私もママにプレゼントあげたの!」と教えてくれました。きっとお母さんがたくさん驚いたり、喜んでくださったのだらうなと感じて、先生たちも嬉しい思



いでした。幼稚園では、母の日に向けて、物のプレゼントだけでなく、お母さんが喜ぶお手伝いを考えてみたり、お礼のことばを考えたり、大好きなお母さんを思い浮かべて似顔絵を描いたりしながら、みんなであーしよう! こうしよう! と相談しながら、母の日を迎える準備をしてきました。活動を通して準備したものは、お店で買った品物では得られない、子どもたちの思いがしっかりと詰まっています。心に残る母の日になったら素敵だなと思っています。

先日、年中組のお母さんから、母の日の様子を聞かせていただきました。

金曜日に母の日のプレゼントを持ち帰って来ても、「お母さんには内緒!」の一点張りで、2階のクローゼットに隠して、金曜・土曜ともらえなかったそうです。そしていよいよ日曜日の朝。お子さんが、「今日は母の日?」と聞きに来たので、「そうよ。」と答えると、やっ

と!クローゼットから取り出して、「お母さんありがとう」と、プレゼントを渡してくれたとのことでした。お母さんは、なかなか渡してくれない姿について、“幼稚園で先生と作戦会議をしての姿だろう”と察しながら、ぐっとガマン。園ブログに、母の日の制作の様子が載っているのだらうなと思いつつも、グッと我慢をしてブログも読まずに、お子さんからのプレゼントを楽しみに待ってくださっていたようです。

お子さんの想いを汲んでいるお母さんの姿や、持って帰ったプレゼントを、母の日まで温めていた娘さんの気持ちを考えると、こちらまでとてもあったかい気持ちになりました。

子どもたちにとって、『プレゼント』は、専ら、『もらう』立場だったと思いますが、プレゼントを『あげる』体験をしたことで、“こんなに喜んでもらえるんだ!”と、生まれて初めての感激だったのではないのでしょうか。そして、この体験は、何かをプレゼントをすることに限らず、相手を思いやる気持ちや、コミュニケーションの力を豊かにするのではないかと感じます。

まだまだ小さな幼稚園児が、誰かを喜ばせようと、考えたり用意している姿に触れて、愛おしさも感じる母の日でした。

さて、母の日の様子を見て、俄然!父の日が楽しみになったお父さんも、いらっしやるでしょう!? ぜひ、お子さんの“喜ばせたい気持ち!”を汲みながら、こっそり楽しみにしていただけたいと思います。

Father's Day



とんな

「とんな」は、ようちえんで起こる
とんなとき・とんなこと・こ～んなにを
折々お届けします。

おへそまがり…

お気に入りの場所を見つけたり、好きなおもちゃを見つけ、あちこちで楽しんでいる年少組。「そろそろお片付けよ～」の声に、「は～い!」と片付けする子が増えてきました。

そんな中、片付けをしないで遊んでいる男の子を発見!先生が声を掛けると、「片付けない!」「お弁当食べない!」と言って、なんでもかんでもイヤと言います。そこで先生が、「お片付けしないでいいよ」と言ってみました。すると返ってきたのは、「お片付けするよ!」の声。しめしめ…と思いながら、「お弁当食べないんだよね?」と言ってみると、「お弁当食べるよ!」と返ってきました。その日は、お着替えやお帰りの支度など、先生と一緒におへそまがり合戦!傍にいた年長さんが、「お片付けしないでいいよ!」と言っている先生を見て、「えっ!?(先生がそんなこと言うなんて!）」とびっくりしていました。



年少組



“お部屋で始まるいいこと!”をちゃんと感じているからこそ!お片付けもがんばるのです。



年中組

↑↑↑
トマトじゃないよ～お楽しみ！



おまじないの歌

♪とんとんトマトちゃん
とんとんトマトちゃん
トマトちゃんのおんじんだ！♪

こっそりおまじない

園庭のにこにこ畑で、プチトマトを育てている年中組。ゴールデンウィークが始まる前に苗植えをしてから、毎日観察をして、トマトの生長に興味膨らんでいるようです。

ある日、女の子が畑で踊っていました。その様子が可愛くて、そっと見ていると、目が合って、「ダメ～」と言われてしまいました。何をしていたか教えてもらおうと、トマトが大きくなるようにおまじないの踊りをしていたそうなのです。1人でこ～っそり！

そこで、「先生も一緒におまじないをしたら、もっと大きくなるかしら？」と聞いてみました。すると、「うん！」と言って、おまじないの踊りを手取り足取り教えてくれました。跳んだり跳ねたりお尻をフリフリしながら、一生懸命踊る姿のかわいいこと！ぜひ、お家でも踊ってもらってください。

こ～んな子みっけ！

おままごのお皿を並べて作った『ドラムセット』



坂本先生のお靴履いてるのだから？



年長の次…

ぐりぐら組でプレ保育の準備をしていると、通りすがりに子どもたちが声を掛けていきます。「今日はぐら組が来る日なんだね。〇〇君の弟が来るんだ！」と、目を輝かせてニヤリ。会えることが嬉しい！手を繋いだり、お世話ができることを楽しみにしているということが感じられます。

年長組



そんな時、年中さんの女の子が「私ぐら組だったよ！」と、言いました。すると年長の子が、「オレ、ぐり組とぐら組どっちだったっけ？」と考え込みます。なかなか答えが出ずにいたので、「すずらん組だったんじゃない？」と助け舟を出すと、「違うよ！たんぼぼ組だったもん」と言います。年少さんの時のことは覚えている様子でしたが、プレ保育のぐりぐら組にいたかどうかは、思い出せないようです。それもそのはず、プレ保育が始まったのが2年前ですから、今年年長組の子どもたちがプレ保育に通ったはずはないのです。それでも、一生懸命考え込んでくれていました。そんな姿が可愛くて、ちょこっと意地悪を言ってみました。「それじゃあ、ひまわり組が終わったら、ぐりぐら組になればいいんじゃない？」すると、「そうだね！そうすればいいんだ。」と納得した表情を見せてくれました。



プレのお部屋の変化にも、す～ぐ気が付いて、お手伝いしようとしてくれる年長組。

来年は1年生になるんじゃないかっけ？と思いながらも、順番はともかく、ぐりぐら組も楽しそうで、みんなが通る道と思っているのでしょう。真面目でまだまだかわいい年長組です。